

<h1 style="color: green;">ゆとりある教育を求め 全国の教育条件を 調べる会 ニュース</h1>		2013.3.11発行 NO.30 大阪・長野研究会報告 shiraberukai@ae.auone-net.jp
<p>2月3日(日)</p> <h2 style="text-align: center;">「教職員配置状況の調べ方研究交流会」 に全国から6名の参加者</h2> <p>2月3日(日)大阪市のたかつガーデン会議室にて、教職員配置状況の調べ方研究交流会が行われ、新潟、愛知、京都、和歌山、宮崎、奈良から6名の参加者がありました。講師の橋口幽美さんから、今回初めて情報公開した「申請」の書類からわかること、諸書類の総括的な表などが報告されました。意見交流の中であらたな疑問、謎が生まれ、参加者で議論を行いました。また、これからそれぞれの立場で調査研究を進めていくことを確認しあいました。新たな謎の解明のため、文科省に「各都道府県教委から配当申請数と異なる数を決定した理由」などの文書の公開を求めました。</p>	<p>2月16日</p> <h2 style="text-align: center;">安倍政権の35人学級見送り 方針に対し、「見解」を発表</h2> <p>安倍政権が35人学級の拡大を見送り、義務教育費国庫負担金前年比697億円減という平成25年度予算案を発表しました。これは、国民世論である少人数学級制の推進を否定し、日本の教育条件整備を後退させる重大なものです。</p> <p>調べる会は2月16日付で「35人学級制の拡大見送り」は教育条件整備の重大な後退 - 平成25年度文科省予算案についての見解 - を発表しました。見解では、予算案策定の根拠とされた財務省の判断について、反論しています。(「見解」内容については、会ホームページを参照してください。)</p>	
<p>2月16日(土)</p> <h2 style="text-align: center;">長野県教組・高教組・高教文化会議共催の 「教育条件整備学習会」が行われました。</h2> <p>長野高校会館で行われた学習会には、県下の教職員27名が参加し、山崎洋介(調べる会事務局長)が「本当の30人学級を実現するには?～学級編制・教職員配置の制度を知り、その実態を調べよう～」と題して約2時間の講演を行いました。講演内容や感想などは、別紙をご覧ください。</p>	<p style="text-align: right;">長野で調べ方講習会を開催 2月17日</p> <p>長野での「教育条件整備学習会」の翌日、長野高校会館にて「教職員配置状況の調べ方講習会 In 長野」を開催しました。長野県教組、高教組の役員をされておられる4名の参加者がありました。感想は別紙をご覧ください。</p>	
<h3>教職員配置の研究交流集会 in 大阪</h3> <p>4月27日(土)・28日(日) 詳細は別紙参照</p>		
<p>講演会 学習会開催のお誘い</p> <p>昨春秋より新潟、東京、長野と調べる会への講演・学習会等開催依頼が続いています。そのため、会ホームページに「学習会・講演会・研究会開催のお誘い」のページを設けました。ご覧ください。</p> <p>【今後の予定】</p> <p>五月十一日(土)</p> <p>三重三十人学級を求める会 総会で講演(津市)</p>	<p style="text-align: right;">調べる会パンフレット</p> <p>NO 23 教職員の実数・定数 H 22</p> <p>NO 24 教職員給与決算ほか H 22</p> <p>ができあがりました。</p> <p>新潟・東京の研究会で使用したテスト版に、修正加筆したものです。</p> <p>今年度の会費を納入された方には、同封しています。</p>	